



第14話 コロナの日々

議員になってからの3年半、週末はいつも行事や催しがびっしり入るのが常でしたが、新型コロナウイルスの影響で3月から行事の多くが中止となり、スケジュール帳の文字がドンドン消えていきました。その分家族と過ごす時間が

増えたのは怪我の功名ですが、コロナのことは悩ましく、日々ネットやお電話でいろんなご相談を受けたり、所属の保健福祉委員会で多くの議論をしたりの日々です。また安心して皆さんと顔をあわせられる日が早く来ますように。



ご近所のしだれ梅の下で、小5になる長女と

ひと息ついて頑張ろう



おおつかあいプロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保護受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート [第14号]
発行: 2020年4月(2020年2月議会報告)
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
●みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

[事務所]
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel: 086-244-7721
Fax: 086-244-7724
e-mail: info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
[自宅]
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯: 070-5056-3808
e-mail: ai.raku@shokan.jp



大塚愛

県政レポート(2020年4月発行) [第14号]



いっぽ通信

P.02-03 災害時サポートブック・ICT教育

P.01 見えない災害～新型コロナウイルス～

P.02-03 おもな活動記録から「災害ボランティア/安全な食をもとめて」

P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — / 日々のうごき (2020年1月～4月)

日々のうごき

2020年1月～4月

- 1.15 常任委員会(環境文化保健福祉)
- 1.19 吉備中央町出初式、御津新庄原区・西谷総会、ユニオンおかやま勉強会、きょうだい会定例会
- 1.20 空き家の会準備会
- 1.21 みどり園ボランティア、ひだまりカフェ訪問
- 1.22 いっぽ通信動画収録
- 1.24 常任委員会、予算協議会質問準備
- 1.25 空き家相続の勉強、印鑑智哉さんたねのお話し会@コットン古都夢
- 1.26 B&Gオリエンタリング@竹枝、大道新春の集い
- 1.27 特別委員会(総合計画・行政改革)、安田節子さん講演会
- 1.28 加茂川ホリデイフォレスト定例会、気候変動ミーティング
- 1.29 小水力発電の相談@吉備中央町、みどり岡山会議、インターン打ち合わせ
- 1.31 チャリティコンサート準備、3・11への祈り準備会
- 2.1 建部中学校、馳浩さん講演会
- 2.2 御津紙工河内・久保・河内・母谷総会
- 2.3 たねをまわる会ミーティング、山本太郎トーク、若者の性の健康支援ネットワーク
- 2.4 常任委員会、NPO継承の相談
- 2.5 高齢者カフェの相談@建部、新エネ研修会@県立図書館
- 2.6 グリーンコープ天笠啓祐さん講演会、

- 建部だっぴ報告書作成会
- 2.7 予算総括協議会、野生桃講演会
- 2.8 麦踏み@御津大野
- 2.9 「福島原発事故を語る」講演会
- 2.10 会派知事折衝、インターン政策コンテスト話し合い
- 2.11 御津天満総会
- 2.12 全国災害ボランティア議員連盟研修会@東京
- 2.13 空き家の会準備会、希望学園ありがとう会
- 2.14 常任委員会、会派代表質問準備
- 2.15 保育園ブロック役員会
- 2.16 熊野神社草刈り、御津中学校区町内会連絡協議会総会、チャリティコンサート@西川アイプラザ
- 2.17 特別委員会、3・11への祈り準備会
- 2.18 みのり園ボランティア、ひだまりカフェ見学
- 2.19 脱原発結集田中徳雲さん講演会@藤涼寺、保育園役員会
- 2.20 空き家の会準備会、山陽新聞交通シンポジウム
- 2.21 みどり岡山会議、たけべ家おこしプロジェクト設立総会
- 2.22 県政・市政おはなし会
@勤労者福祉センター、災害通訳ボランティア研修会見学
- 2.23 御津建部剣道50周年記念大会、建部御津支部総会、和太鼓コンサート@建部文化センター
- 2.24 家族でテニス@御津スポーツ公園
- 2.25 2月議会開会、越宗勇さん児童虐待対応の講演会
- 2.26 駅前町再開発の相談、ピンクシャツデー・柿谷正期さん講演会
- 2.27 代表質問
- 3.1 ひきこもり当事者支援者の会@きらめきプラザ
- 3.3 一般質問(～3.11)
- 3.8 「3・11への祈り」中止対応
- 3.10 留学生外国人議連勉強会
- 3.11 RNN東日本大震災慰霊祭

- @神道山
- 3.12 特別委員会、映画「子どもたちをよろしく」
- 3.13 建部だっぴミーティング、みつ写真クラブ展
- 3.14 ICOエルドリッチ博士講演会@岡大附中
- 3.16 常任委員会、子ども家庭課+ぐるーん懇談
- 3.17 家庭教育支援ヒアリング、インターンと環境施策勉強会
- 3.18 SSW施策ヒアリング、たねをまわる会おかやまミーティング
- 3.19 2月議会開会、中電勉強会、副知事と会派反省会
- 3.20 COP25オンライン報告会
- 3.21 小学校不登校対応の相談
- 3.23 学習支援ボランティア@建部川口、たけべ部ふりかえり会
- 3.24 みどり岡山会議
- 3.26 県政おはなし会@建部町公民館、たけべ家おこしP役員会
- 3.29 アートde産廃反対看板作成イベント@御津大野
- 3.30 みどりの映画会「サティシュの学校」
- 3.31 スクールソーシャルワーカーさん懇談@岡山高等学院
- 4.1 県教委へコロナ対応要望
- 4.2 映画「プリズン・サークル」
- 4.6 県教委へ要望書提出、SSWヒアリング
- 4.7～ いっぽ通信原稿作成
- 4.12 笠岡市議選・まなべ陽子さん応援

みなさま、こんにちは。野山は新緑の春を迎えています。新型コロナウイルスの影響で社会の自粛が続く中、いかがお過ごしでしょうか。

岡山県は1月末に対策本部を立ち上げ、PCR検査を実施したり、1日数百件もの電話相談に対応したり、入院可能なベッド数を確保したり、



県庁の醍醐桜が満開になり、一足早い春を告げてくれました(3月19日)

学校再開や休校を決めたり...と、この数か月めまぐるしく動いてきました。

ウイルスはどこにあるのか目に見えず、知らないうちに感染する可能性があり、新型コロナウイルスの情報は少なく先行きが見えにくいという大変さがあります。

そういう点では、9年前に起きた原発事故も似ており、放射性物質は目に見えず、その影響がどのように現れるのか先が見えないという悩ましさがありました。

そんな「見えない災害」に遭遇した時は、さまざまな不安が募り、デマも生じてしまいましたが、大切なのは冷静を心がけて正しい情報を得ること、差別



コロナの休校に関するアンケート調査を行い、637名の保護者から届けられた声をまとめ、鍵本教育長に届けました(調査結果はみどり岡山HPに掲載)

意識に気を付けたり、思いや意見を交わせる場をもつことだと思います。

直接人が集まらない状況の中で、私は主にFacebookを使って情報提供などしてきましたが、離れていてもコミュニケーションできるツールは有難く、ネット会議にも少しずつ慣れてきました。

岡山県は比較的少ない感

染率を保つことが出来ていますが、今後は長期的な視点を持って、感染対策と経済対策や生活支援をあわせて考えていく必要があるのではないかと思います。

何かと大変な時が続きますが、何かご相談などありましたら、ご連絡ください。皆様どうぞご自愛ください。

2月議会の代表質問から (2020年2月27日)

障がい者の避難計画やICT*教育を進めるために

*ICT教育:
パソコンやタブレット、インター
ネットなどを活用した教育手法

子どもの 権利擁護について

Q. 1994年に批准された子どもの権利条約では、「子どもの最善の利益が考慮されること」が謳われ、2016年に改正された児童福祉法では、子どもを権利の主体として、初めて明確に位置づけられました。昨年、千葉県では子どもが助けを求めたにも関わらず、虐待死に至る悲しい事件が起こっています。子どもの権利擁護について、とりわけ社会的養育において進めていくことは大変重要です。

県では来年度、子どもの権利擁護推進事業を行う予定ですが、どのように取り組めますか?また、子どもの意見を反映させるための連携は?

A[知事]. 子どもの権利擁護への理解が深まるよう、里親や児童養護施設職員を対象に研修を行ってきた。今後、弁護士が聴き取る子どもの意見を関係者に伝えて療育環境を改善したり、その内容を社会福祉審議会へ報告し、連携をしながら進めていきたい。

要支援者の 避難計画について

Q. 7月豪雨災害で亡くなられた方の9割は、自力で避難することが難しい高齢者や障害のある方でした。また、阪神・淡路大震災では、災害による死亡者の9割以上が、発災後14分以内に亡くなったという報告もあり、この短い時間に救援するためには、地域住民などによる共助の働きが重要となります。

障がいのある方の避難が実現するためにどう取り組んでいきますか?



手帳サイズ(26頁)。県のHPから手引きもダウンロードできます

A[知事]. 地域の身近な支援者の理解が重要なので、市町村と協力して、障がい者の個別避難計画(「災害時サポートブック」という名前になりました)の活用

方法を、関係団体に周知していく。また、福祉避難所の情報が必要とする人に届くよう、市町村に働きかけていく。

Q. 防災と福祉の連携をどう進めていますか?

A[知事]. 防災部門と福祉部門が互いに理解を深めるよう、研修会や意見交換を行い、より実効性の高い避難支援個別計画を作れるよう促していきたい。

海ゴミ対策 について

Q. マイクロプラスチックは、有害物質を吸着する性質があり、様々な生物への影響が心配されます。三重県の海岸で行われた調査では、回収したマイクロプラスチックの大半が、被覆肥料カプセルや発泡プラスチックであったことが分かっています。岡山県内でも、この肥料カプセルが大量に飛散している状況が確認されています。県内でこのような肥料はどれくらい使用されていて、どのような対策をしていますか?

A[知事]. 年間流通量は約8500トンになっ



県内の河川にも肥料カプセルが大量に流れています(写真:「ツリキチオーの釣り日記」ブログより)

ている。栽培講習会などで、圃場からの流出防止の対策や代替肥料の検討を働きかけている。

Q. 主な発生源について研究して対策を講じるべきですが?

A[知事]. 全国知事会と連携して、国に実態解明と発生抑制対策を要望しており、国による調査研究の動向を注視していきたい。

GIGA*スクール 構想について

*GIGA: Global and Innovation Gateway for All

Q. 国が提唱する「GIGAスクール構想」に基づき、県内すべての小・中・高・特別支援学校等で無線LANや学習用のタブレットを5か年計画で整備してい

く事業の一環として、令和2年度に、県立学校IT基盤整備事業として10億6000万円計上されています。

ソフト面の対応は?

A[教育長]. これまでも県総合教育センターで中核となる教員を要請して、校内研修をしてきた。ICT活用の方針を示し、活用の事例集を作って実践的な研修をしていく。

Q. 県下の小中学校との連携は?

A[教育長]. ICT環境整備と活用が円滑に進むよう、市町村教委や県立学校にハードソフト両面から助言している。

Q. 学校への支援は?

A[教育長]. ICT支援員が通信トラブルなどへの技術的支援をしてきたが、国の支援も



林野高校では、3年前からchrome bookを導入し、授業に活用しています(写真提供:林野高等学校)

活用して充実させていきたい。

Q. 教員の働き方への影響は?

A[教育長]. ICTの活用になれるまでは負担がかかるが、学習履歴の活用や効率的な成績処理によって、働き方改革にもつながると考えている。

関連して……

新型コロナによって臨時休業が続く今、ネット授業などのICT教育の準備が早急に求められています。県内で先進的に取り組む林野高校や高梁高校では、独自にネット授業を行ったり、1人1台持っているパソコンを使って、生徒がいつも通りのコミュニケーションを続けることができています。

また、他県では独自で動画授業を作成したり、テレビ局がそれらを放送する試みも始まっています。

学校や家庭のネット環境やタブレットなどの整備にあわせて、教員が活用していくための支援など、さまざまな要素が必要ですが、コロナを機にICT教育が進めていけることを願います。

全国災害ボランティア議員 連盟研修会

@東京・衆議院会館(2月12日)



各地の災害支援から学べる機会は貴重です

自然災害が多発する中、災害ボランティアは大きな役割を担っています。そのボランティア活動への支援や、行政の災害対応について学ぶ場として、全国から自治体議員が100名ほど集まって、勉強会をしました。昨年の台風被害について千葉や福島の議員から報告を聞いたり、LINEを活用した行政窓口システムや、交通費を支援する災害ボランティア助成制度、災害時の感染症対策についてのお話も大変参考になりました。また議員という立場で、熱心に災害支援に取り組む方たち

おもな「活動記録」から

の想いに触れて、大変勇気づけられる気持ちにもなりました。

西日本豪雨の際に、岡山では早期に災害ボランティアのネットワークが作られ、住宅の復旧についても熱心な活動が行われてきました。その教訓からまとめられたマニュアルなども他県で活かしていけるよう、この議員連盟に今後も関わって、情報交換していきたいと思います。

「安全な食をもとめて」

◎印鑑智也さんお話し会(1月25日)

◎安田節子さん講演会(1月27日)

◎天笠啓祐さん講演会(2月6日)

偶 然にも同じテーマのお話を聞く機会が続きました。昨年4月に種子法(米・麦・大豆の種の安定供給を都道府県に義務付けた法律)が廃止され、この春に審議

されている種苗法の改訂では、自家採種の禁止が強められる方針が出されています。これらの動きはTPPに関連して民間企業の参入を進めようとするもので、地域に根付いた種の多様性や農産物の安全性を脅かすことが懸念されます。

また、グリホサートという除草剤の発がん性が明らかになり、海外では使用規制が強まっていますが、日本では逆にその基準が緩和され、給食で使われている輸入小麦からもグリホサートが検出されています。さらに、新たに輸入解禁になったゲノム

編集食品は、安全審査が不十分で、表示も義務付けられていません。

種や食の安全を守るために、都道府県で種子条例を制定したり、学校給食に有機農産物を使う自治体が増えつつあり、岡山でも県や市町村へ署名活動を行い取り組んでいこうと、「たねをまもる会おかやま」を立ち上げました。関心のある方は、大塚までご連絡ください。

種子法……米・麦・大豆の種の安定供給を都道府県に義務付けた法律